


令和7年度購入DVD

主な課題	題名	時間	対象	内容	
全般	人権のすすめⅡ ■テレワーク時代のコミュニケーション編 ■アンコンシャス・バイアス&マイクロアグレッション編 ■心理的安全性編	24	一般	この教材は、職場におけるさまざまな困りごとや課題をテーマに取り上げ、それぞれ独立したミニドラマでの「気づき」を通して、多角的に人権問題やコミュニケーションの課題を学んでいく映像教材です。	

令和7年度寄贈DVD

主な課題	題名	時間	対象	内容	
全般	みらいロボット ミミーとハットのはなまるクイズ	13	小学生以上	お互いの違いを認め、尊重し合うことは、人権の基本です。本作品は、クイズ形式です。子どもが答えを考えることで、自尊感情を高め、誰もが素晴らしい存在だと理解し、相手を思いやる心を育みます。	
全般（ビジネスと人権）	企業活動に人権的視点をCSRで会社が変わる・社会が変わる	103	一般	経済産業省中小企業庁の委託事業として、CSR（企業の社会的責任）や人権課題に関する企業の取組を啓発推進することを目的に、平成14年度から平成25年度に各地で開催した「『企業の社会的責任と人権』セミナー」において、CSRと人権課題に積極的に取り組まれている企業に発表いただいた実践事例の中から、企業にとって関心の高いテーマに関する事例を分かりやすくまとめたものです。各事例では、協力いただいた企業の経営者や従業員などにおける実際の取組の様子や地域の人々の声などを紹介しています。また、専門家による各事例の取組のポイントやCSRと人権課題に関する解説も収録しています。	
全般（ビジネスと人権）	企業活動に人権的視点を②～会社や地域の課題を解決するために～	97	一般	経済活動のグローバル化や技術革新などにより、企業が社会に与える影響はますます大きくなっています。これに伴い、地球環境への関心が広がり、国際的な人権意識の高まりなど、企業が果たすべき社会的責任・CSRが問われる時代になってきました。企業は、顧客、取引先、株主、地域社会、従業員など、実に様々な人々と関わりながら活動をしています。多くの人から支えられている企業であるからこそ、これらの人々に誠実に対応していく必要があります。このビデオでは、どのように取り組むことが企業内外の人のためになり、地域や環境のためにもなるのか、先進的な5つの取組事例を紹介しています。	
部落差別（同和問題）	許すな「えせ同和行為」～あなたの会社を不当な要求から守ろう～	36	一般	「えせ同和行為」とは、同和問題を口実にして、企業・個人や官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為を指します。えせ同和行為は、同和問題に関する誤った認識を植え付け、偏見や差別を助長する要因となっており、同和問題の解決を阻害するものです。本DVDでは、えせ同和行為をはじめとする不当要求行為の主な事例をドラマ形式で具体的に紹介し、その心構えと対策を分かりやすく紹介しています。	